



あま市教育委員会
公式キャラクター
ハッチー

このページはボランティアの市民の方が取材・作成しています

我が街の逸品を探す!

いえやすひつ とくせいめんじょしょうもん
家康筆 徳政免除証文

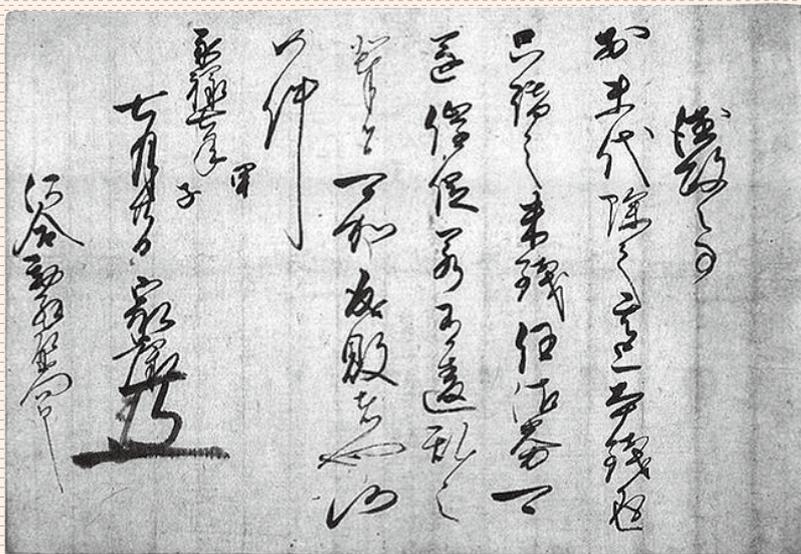


家康 花押

あま市のお宝を探しに美和歴史民俗資料館の学芸員さんを訪ねました。ここにあるおよそ2万点の歴史資料のなかより「これは!」という逸品と出会うことが出来ました。戦国時代の天下人、徳川家康直筆の貴重な書状があることを知る人は少ないのではないのでしょうか。さあ、ご覧ください!!

いえ やす ひつ とく せい めん じょ しょう もん
家康筆 徳政免除証文 (あま市指定文化財)

この文書は、徳川家康が河合勘解由左衛門に宛てた判物(武家が発給した文書で、差出人の花押が付されたもの)で、永禄7年(1564)7月の日付があることからおよそ450年前に書かれました。桶狭間の戦いで今川義元が倒れ、その人質であった家康は故郷の岡崎に帰城し、織田と同盟を組むも、地元で一向一揆が発生します。若き家康が、一揆を懐柔するためにとった策が徳政令の発令でした。徳政令は借用していた金品を返さなくてもよいとした法令ですが、この証文は、河合家のこれまでの功績により、貸した金品を取り立ててもよいとするもので、つまり、子々孫々に至るまで返済を要求してもよいということになります。家康の遺墨のなかでも、こうした免除証文は少なく、若き日の家康を語るうえで、貴重な資料ということです。また証文には脱字が見受けられ、家康の意外な一面もうかがえます。



■編集後記■ 文字の識別が出来ず、ミミズ文字に見えるのですが、これを読み解くと家康の苦労の様子が分かりました。資料館ではこうした古文書の解読講座を開催していて、現在も受講生を募集中だそうです。ご興味のある方は、ぜひ受講されては?歴史の面白さをより深く堪能できることでしょう。(by 市民記者 焼き明太子)

問合先 美和歴史民俗資料館 ☎442・8522 休館日 水曜日・木曜日